

Upside アッパサイド

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
I型(日経平均株価)

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2013年度 (2013年4月～2014年3月) 特別勘定の現況

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「I型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2013年4月～2014年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2013年4月～2014年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+16.25%上昇の1,202.89ポイント(前期末は1,034.71ポイント)で終了しました。期初、日本銀行が事前予想を上回る大幅な金融緩和策を決定したことなどから大きく上昇して始まりましたが、米国の量的緩和縮小の見送りやシリア情勢の緊迫化などにより1月中旬ごろまで揉み合いながらも上昇基調で推移しました。その後、軟調な米国株式市場などを背景に下落しましたが、中国の経済指標の悪化や米国の経済指標の改善などを材料に揉み合いで推移して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、買収による海外事業の拡大が期待された「情報・通信業」(前期末比+40.27%)が最も上昇した一方、前年度の大幅上昇の反動から「倉庫・運輸関連」(同△2.93%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+12.89%上昇の16,457.66ドル(前期末は14,578.54ドル)で終了しました。今期前半は、シリア情勢の緊迫化や財政協議の先行き不透明感などから下落する局面もありましたが、好調な雇用統計や量的緩和縮小の見送りなどを受けて上昇し、揉み合いながら推移しました。今期後半は、与野党が財政協議で合意に達したことなどから上昇した後、新興国経済の先行き不透明感などから下落しましたが、ウクライナ情勢に対する警戒感の一服などから上昇基調で推移して、今期を終えました。

欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、値動きが大きくなる局面がありました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.91%上昇、仏CAC40は同+17.69%上昇、独DAXは同+22.59%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が上昇しました。新発10年国債利回りは0.64%となりました(前期末は0.56%)。

今期前半は、日本銀行による大幅な金融緩和策決定などを受けて金利は大幅に低下(価格は上昇)しましたが、国内株式市場の上昇などにより上昇(価格は下落)に転じ、その後、米国の量的緩和縮小見送りなどを背景に低下基調で推移しました。今期後半は、米国の金利上昇などを受けて上昇後、国債需給の逼迫などから低下し、期末は国内株式市場の下落や需給の緩みが意識され、債券先物の売りが強まったことなどから揉み合いで推移して、今期を終えました。

日本銀行は4月に金融市場調節の操作目標をマネタリーベースに変更し、マネタリーベースが年間約60～70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利が大幅に上昇しました。米10年国債利回りは2.72%となりました(前期末は1.85%)。今期前半は、量的緩和早期縮小観測や雇用統計の改善などを受けて、金利は大幅に上昇(価格は下落)しました。今期後半は、量的緩和縮小開始の決定などを背景に上昇後、新興国通貨の下落などを受けて低下(価格は上昇)しましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)議長の発言により金融政策の継続性が確認されたことや好調な国債入札結果などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利が上昇しました。独10年国債利回りは1.57%となりました(前期末は1.29%)。概ね米国債券市場と同様の動きとなりましたが、期末にかけては、低下基調で推移しました。金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、金利の低下幅が広がる局面がありました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は5月と11月に政策金利を0.25%ずつ引き下げ、年0.25%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で概ね円安となりました。米ドル/円相場は、前期末比8円87銭円安ドル高の1ドル=102円92銭となりました(前期末比+9.43%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速する一方、世界的な株安を背景に円高の動きとなるなど、揉み合いながら推移しました。今期後半は、米国で量的緩和縮小開始が決定されたことなどから円安が進行した後、米国の利上げ時期を巡る動きやウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

ユーロ/円相場は、前期末比20円92銭円安ユーロ高の1ユーロ=141円65銭となりました(前期末比+17.33%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速した後、金融政策を巡る動向などから円安基調で推移しました。今期後半は、ドイツ株式市場の上昇などにより円安が進行した後、ECBの金融政策の動向やウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

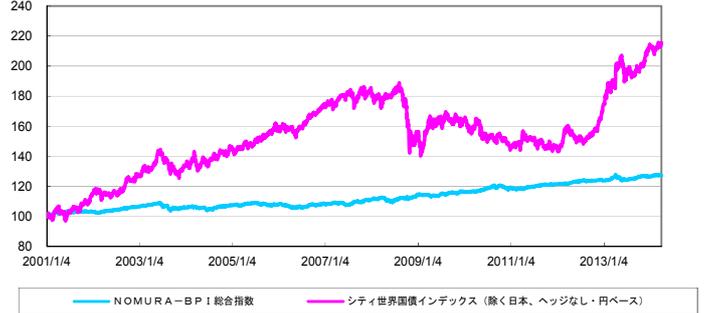
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

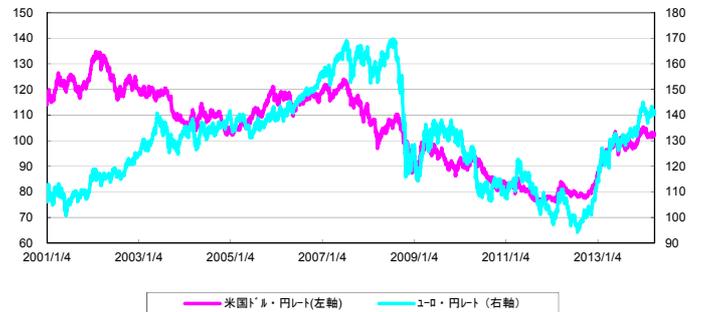


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2013年4月～2014年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆ この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆ 特別勘定は、ご契約日を同一とすご契約ごとに設定します。
- ◆ 特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆ 据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2013年4月～2014年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2013年4月～2014年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績

2014年3月末日現在

【運用コメント】

当特別勘定資産は、日経平均株価の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことにより運用しました。
当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、日経平均株価のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【日経平均株価の推移】 (2013年4月～2014年3月)



【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】 (各特別勘定の計算開始日～2014年3月末日まで)

特別勘定(契約年月日)	日経平均株価(終値)の上昇率	ステップアップ水準値		
		40%	80%	120%
2004年12月1日	33.5%	○	-	-
2005年1月1日	31.3%	○	-	-
2005年2月1日	27.1%	○	-	-
2005年3月1日	24.8%	○	-	-
2005年4月1日	33.7%	○	-	-
2005年5月1日	34.3%	○	-	-
2005年6月1日	29.1%	○	-	-
2005年7月1日	25.7%	○	-	-
2005年8月1日	20.6%	○	-	-
2005年9月1日	12.7%	-	-	-
2005年10月1日	12.4%	-	-	-
2005年11月1日	1.3%	-	-	-
2005年12月1日	▲5.2%	-	-	-
2006年1月1日	▲5.5%	-	-	-
2006年2月1日	▲3.9%	-	-	-
2006年3月1日	▲10.8%	-	-	-
2006年4月1日	▲14.3%	-	-	-
2006年5月1日	▲8.2%	-	-	-
2006年6月1日	1.2%	-	-	-
2006年7月1日	▲0.7%	-	-	-
2006年8月1日	▲7.9%	-	-	-
2006年9月1日	▲5.6%	-	-	-
2006年10月1日	▲10.9%	-	-	-
2006年11月1日	▲5.7%	-	-	-
2006年12月1日	▲12.8%	-	-	-
2007年1月1日	▲14.3%	-	-	-
2007年2月1日	▲17.3%	-	-	-
2007年4月1日	▲15.0%	-	-	-

- ・記載の「上昇率」とは、計算開始日における日経平均株価の終値と、2014年3月末日時点における日経平均株価の終値とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。この日が東京証券取引所の休業日にあたる場合には、前営業日となります。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
 - (1) 計算対象期間中に日経平均株価の上昇率がステップアップ水準値(日経平均株価上昇率40%・80%・120%)に到達した場合は、その時点で上昇率(40%・80%・120%)を用いて計算された株価指数連動追加年金原資額が確保されます。
 - (2) 計算対象期間中に日経平均株価の上昇率がステップアップ水準値に一度も到達しなかった場合は、据置期間満了日における上昇率を用いて計算された株価指数連動追加年金原資額が確定します。
((2) で且つ、据置期間満了日における上昇率がマイナスであった場合は、株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。)
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・記載の上昇率はあくまでも2014年3月末日時点における上昇率であり、将来の日経平均株価の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2013年4月～2014年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定資産評価額

2014年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2004年12月1日	4,789.50
2005年1月1日	42,883.98
2005年2月1日	37,190.22
2005年3月1日	177,506.32
2005年4月1日	413,523.99
2005年5月1日	441,406.14
2005年6月1日	542,961.92
2005年7月1日	1,082,162.48
2005年8月1日	1,144,869.96
2005年9月1日	172,273.40
2005年10月1日	152,550.72
2005年11月1日	88,435.08
2005年12月1日	41,254.89
2006年1月1日	47,550.10
2006年2月1日	38,158.69
2006年3月1日	14,991.79
2006年4月1日	7,104.44
2006年5月1日	12,897.10
2006年6月1日	19,738.10
2006年7月1日	25,884.59
2006年8月1日	3,023.99
2006年9月1日	6,072.36
2006年10月1日	1,901.35
2006年11月1日	3,874.03
2006年12月1日	2,305.14
2007年1月1日	771.56
2007年2月1日	380.70
2007年4月1日	4,916.02
合計	4,531,378.56

- ・記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2014年3月末日時点における合計値となっています。特別勘定は、ご契約日を同一とすご契約ごとに設定します。
- ・金額の単位未満は切り捨てています。
- ・記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2013年4月～2014年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率A(I型)
2004年12月1日	3.85%	110%	34.70
2005年1月1日	3.85%	110%	34.90
2005年2月1日	3.85%	110%	40.20
2005年3月1日	3.85%	110%	41.00
2005年4月1日	3.85%	110%	38.80
2005年5月1日	4.25%	115%	34.20
2005年6月1日	3.85%	110%	39.80
2005年7月1日	3.85%	110%	41.20
2005年8月1日	3.85%	110%	39.40
2005年9月1日	3.85%	110%	35.50
2005年10月1日	3.85%	110%	32.60
2005年11月1日	3.85%	110%	32.90
2005年12月1日	4.25%	115%	27.40
2006年1月1日	4.25%	115%	27.50
2006年2月1日	4.25%	115%	27.00
2006年3月1日	4.25%	115%	26.00
2006年4月1日	4.25%	115%	25.00
2006年5月1日	4.25%	115%	26.90
2006年6月1日	4.80%	120%	20.00
2006年7月1日	4.80%	120%	32.20
2006年8月1日	4.80%	120%	24.20
2006年9月1日	4.80%	120%	23.75
2006年10月1日	4.80%	120%	36.00
2006年11月1日	4.80%	120%	21.80
2006年12月1日	4.25%	115%	17.00
2007年1月1日	4.25%	115%	25.00
2007年2月1日	4.25%	115%	23.80
2007年4月1日	4.25%	115%	29.00

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>